

健康マネジメント協会 会員 各位

このメールは、国土交通省の貸切バスに関する公開情報を元に作成し、会員の皆様に配信しています。交通事故防止の取り組みにご活用ください。

★国交省公開情報(H31.1.25 第 489 号より)

●事業用自動車事故調査委員会の調査報告書公表

事故調査委員会が4件の事故について調査報告書を公表しました。
このうち3件は疲労などによる居眠りや意識低下が主な事故の原因です。

事業者は、運転者が眠気を感じたときの対処法を指導徹底する、点呼で疲労や睡眠不足の有無をしっかりと確認するなどの対策を行いましょう。

- ・ 大型トラックの衝突事故(徳島県鳴門市)
- ・ 貸切バスの衝突事故(長野県佐久市)
- ・ 貸切バスの転落事故(福井県あわら市)
- ・ 貸切バスの転落事故(北海道上川郡清水町)

長野県佐久市の貸切バスの衝突事故について概要を紹介します。

【事故の内容】

長野県の上信越自動車道の八風山トンネルにおいて、乗客 19 名を乗せ走行中の貸切バスが、トンネル内の非常駐車帯出口部の側壁に衝突した。
この事故で、乗客 1 名と交替運転者 1 名が重傷を負い、乗客 10 名が軽傷を負った。

【原因】

- ・ 運転者は強い眠気を感じていたが、そのまま運転を続けたため居眠り状態になり、事故が発生した
- ・ トンネルに入る前にチェーンベースがあり、そこで運転交替ができたが、運転者は交替予定の場所まで遠くないので頑張れば大丈夫と判断していた
- ・ 運転者は大型バスの運転者として選任されて 7 ヶ月と経験が浅く、居眠り運転の危険性等の認識が十分でなかったと考えられる

・事業者は運転中に眠くなったときの対応について特段の指導はしておらず、新人運転者に対し居眠り運転の重大さとその防止措置を指導徹底するという点で十分でなかったと考えられる

【対策】

- ・運転者に対し、乗務中に眠気が生じた時は、安易に大丈夫と考えたり頑張ったりせず、運行管理者に報告して指示を受けるなどの対応をとるよう継続的に指導する
- ・運転者が睡眠不足や交替を申告しやすい職場環境を整備する
- ・運行管理者が乗務前点呼で運転者の睡眠不足等について確認する
- ・休息期間における運転者の睡眠状態を測定・記録する機器の導入等を推進する

詳細は下記をご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha02_hh_000368.html

●貸切バスの重大事故情報

(1)貸切バスの火災事故

1月20日午後1時頃、三重県の店舗駐車場において、貸切バスが駐車待機中、車両から出火した。乗客は乗っておらず運転者にもケガはなかったが、バスが全焼した。

(2)貸切バスの車内事故

1月21日午後0時頃、北海道の町道において、貸切バスが乗客22名を乗せ運行中、道路に段差があり減速して通過したが、揺動で乗客2名が座席から床に転倒した。

この事故で、乗客1名が重傷、1名が軽傷を負った。

事故当時、路面は凍結していた。